

平成30年度 国語科

|       |  |    |      |     |   |    |   |
|-------|--|----|------|-----|---|----|---|
| 教科    | 国語科  | 科目 | 国語総合 | 単位数 | 4 | 年次 | 1 |
| 使用教科書 | 「高等学校 改訂版 標準国語総合」(第一学習社)                         |    |      |     |   |    |   |
| 副教材等  | 「改訂新版 最新国語便覧」(浜島書店)<br>「新常用漢字必携 パーフェクトクリア」(尚文出版) |    |      |     |   |    |   |

1 担当者からのメッセージ

- ・1年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
- ・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
- ・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
- ・予習として必ず本文を読んでおきましょう。また、授業の後には内容を振り返って復習し、家庭学習もしておいてください。
- ・遅刻や欠席、忘れ物のないようにしましょう。
- ・提出物の期限は守りましょう。
- ・小テストおよび定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点                              | a:関心・意欲・態度  | b:話す・聞く能力  | c:書く能力                                     | d:読む能力   | e:知識・理解   |
|---------------------------------|---|--|--|--|---|
| 観<br>点<br>の<br>趣<br>旨           | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。     |
| 主<br>た<br>る<br>評<br>価<br>方<br>法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>(ノート、ワークシート等)                       | 行動の観察<br>(発表等のパフォーマンスの評価)                          | 記述の確認及び分析<br>(ノート、ワークシート等)                 | 記述の確認及び分析(ノート、ワークシート等)<br>定期考査                 | 行動の観察<br>記述の確認<br>(ノート、ワークシート等)<br>定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期  | 単元名         | 学習内容   | 主な評価の観点 |   |   |   |   | 単元(題材)の評価規準  | 評価方法  |
|-----|-------------|--|---------|---|---|---|---|--|---|
|     |             |  | a       | b | c | d | e |  |   |
| 1学期 | 詩を読む        | <p>【詩】<br/>(詩のリズムや表現の特色を味わう。作品に託されたイメージを通じて作者の思いや考えをまとめる。)</p> <p>教材:<br/>「I was born」</p> | ○       |   | ◎ |   | ○ | <p>a: 作品に託されたイメージを捉え、作者の思い、言葉の美しさや深さに気づき、まとめようとしている。</p> <p>c: 作品に託されたイメージを捉え、作者の思い、言葉の美しさや深さに気づき、まとめている。</p> <p>e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>                                    | <p>a、c、e:<br/>行動の観察と確認<br/>定期考査</p>                               |
|     | 評論の内容を理解する1 | <p>【現代文】<br/>(文章の構成、展開、要旨などを的確にとらえる)</p> <p>教材:<br/>「水の東西」</p>                             | ○       |   |   | ◎ | ○ | <p>a: 考えの進め方、構成や展開など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。</p> <p>d: 考えの進め方、構成や展開など、文章の筋道を的確にとらえている。</p> <p>e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。</p>  | <p>a: 行動の観察及び記述の点検</p> <p>d: 記述の確認及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p> |
|     | 随想・随筆を読む    | <p>【現代文】<br/>(作者の思いをまとめ、自分と他者について考えるきっかけづくりをする。)</p> <p>教材:<br/>「スイッチをOFFにすることから始める」</p>   | ○       | ◎ |   |   | ○ | <p>a: 作者の思いや考えを理解し、価値観の違いについて考えようとしている。</p> <p>b: 作者の思いや考えを理解し、価値観の違いについてまとめ、説明できる。</p> <p>e: 書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>   | <p>a、b、e:<br/>記述の点検と確認および分析<br/>定期考査</p>                          |
|     | 小説を読む       | <p>【現代文】<br/>(登場人物の心理描写や情景描写を押さえ、作品の主題や小説のおもしろさを考える。)</p> <p>教材:<br/>「羅生門」</p>             | ○       |   |   | ◎ | ○ | <p>a: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。</p> <p>d: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。</p> <p>e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p> | <p>a: 行動の観察</p> <p>d: 記述の確認及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p>        |

|     |             |   |  |   |  |   |   |  |   |                                |
|-----|-------------|---|--|---|--|---|---|--|---|--------------------------------|
| 1学期 | 古典を読むⅠ      | <p>【古典】<br/>〈説話の面白さを味わい、古文に親しみをもつ。〉</p> <p>教材：<br/>「児のそら寝」<br/>「三文にて齒二つ」<br/>「なよ竹のかぐや姫」</p> | ○  |   |  | ◎ | ○ | <p>a:話の筋を読み取り、人物の言動や状況を捉え、そのおもしろみに気付こうとしている。</p> <p>d:話の筋を読み取り、人物の言動や状況を捉え、そのおもしろみを理解している。</p> <p>e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>  | <p>a、d、e:<br/>行動の観察と確認<br/>定期考査</p>   |                                |
|     | 小説の内容を理解するⅡ | <p>【現代文】<br/>〈登場人物の状況や流れを把握し、心情について根拠を明確に説明できるようになる。〉</p> <p>教材：<br/>「卒業ホームラン」</p>          | ○  | ◎ |  |   | ○ | <p>a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付き、分析や説明をしようとしている。</p> <p>b:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付き、分析や説明ができています。</p> <p>e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p> | <p>a、b:行動の観察及び記述の点検</p> <p>e:<br/>記述の確認及び定期考査</p>   |                                |
|     | 2学期         | 評論の内容を理解するⅡ   | <p>【現代文】<br/>〈対比や身近な例を用いて展開される文章の構成を学ぶ。〉</p> <p>教材：<br/>「コミュニケーションは創造的に」</p> | ○ |  |   | ◎ | ○  | <p>a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。</p> <p>d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。</p> <p>e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。</p> | <p>a、d、e:<br/>記述の点検と確認及び分析</p> |
|     | 短詩形文学を味わう   | <p>【短歌・俳句】<br/>〈俳句と短歌の代表的な作品を鑑賞し、韻律の響きや多角的な言葉の意味をとらえる。〉</p> <p>教材：<br/>教科書に掲載された俳句と短歌</p>   | ○  |   |  | ◎ | ○ | <p>a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかに気付きまとめようとしている。</p> <p>c:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかに気付き、まとめている。</p> <p>e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>  | <p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>c、e:<br/>記述の確認と分析及び定期考査</p>  |                                |

|     |                    |  |   |   |   |   |   |   |   |
|-----|--------------------|--|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | <p>古典を読むⅡ</p>      | <p>【古典】<br/>(助動詞の用法に留意しながら、内容の理解を深め、興味・関心をもたせる。<br/>教材:<br/>「徒然草」<br/>「伊勢物語」</p>           | ○ |   |   | ◎ | ○ | <p>a: 文章に描かれている作者の考えを読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。<br/>d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。<br/>e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p> | <p>a: 行動の観察及び記述の点検<br/>d, e: 記述の確認と分析及び定期考査</p>             |
| 3学期 | <p>漢文を読む</p>       | <p>【漢文】<br/>(故事成語の成り立ちや話のおもしろさを読み取らせ書き下せるとともに、漢文に親しみをもつ。)<br/>教材:<br/>「五十歩百歩」<br/>「矛盾」</p> | ○ |   | ◎ |   | ○ | <p>a: 我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。<br/>c: 文章の組立てや骨組みを的確に捉え、本文にそって書き下すことができている。<br/>e: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。</p>         | <p>a: 行動の観察及び記述の点検<br/>c: 記述の確認及び定期考査<br/>e: 小テスト及び定期考査</p> |
|     | <p>小説の内容を理解するⅢ</p> | <p>【現代文】<br/>(登場人物の関係に着目しつつ、心情の動き、表現や構成を読み取り、小説の読解を深める。)<br/>教材:<br/>「鏡」</p>               | ○ |   | ◎ |   | ○ | <p>a: 人物、情景、心情などを捉え、象徴、予兆など、果たしている効果に気付こうとしている。<br/>d: 人物、情景、心情などを捉え、象徴、予兆など、果たしている効果に気付こうとしている。<br/>e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>                     | <p>a: 行動の観察及び記述の点検<br/>d: 記述の確認及び定期考査<br/>e: 定期考査</p>       |
|     | <p>評論の内容を理解するⅢ</p> | <p>【現代文】<br/>(現代の課題を考え、学問的、歴史的な観点から現代社会のあり方を考える。)<br/>教材:<br/>「科学は正しいか」</p>                | ○ | ◎ |   |   | ○ | <p>a: 作者の考えをふまえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりしてまとめようとしている。<br/>b: 作者の考えをふまえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりしてまとめている。<br/>e: 話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>     | <p>a, b, e: 行動の観察と確認及び分析<br/>定期考査</p>                       |

|     |        |   |   |  |  |   |   |   |                        |
|-----|--------|---|---|--|--|---|---|---|------------------------|
| 3学期 | 古典を読むⅢ | 【古典】<br>〈場面情景や心情を読み取らせ、現代世界に通じる古典世界の価値観、伝統について考えさせる。〉<br><br>教材：<br>「和歌と俳諧」 | ○ |  |  | ◎ | ○ | a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。<br><br>d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。<br><br>e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。 | a、d、e：<br>記述の点検と確認及び分析 |
|-----|--------|---|---|--|--|---|---|---|------------------------|

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:話す・聞く能力      c:書く能力  
d:読む能力      e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。